

## 平成15年の経済見通し

度の実質国内総生産（GDP）伸び率はプラス成長を確保するものの、0.6%程度と景気回復力は弱いと思われます。

これからも経済のグローバル化はますます進みデフレが進行しやすい環境になります。国内で在庫を減らしてもアジアから安価な製品が流れ込み、価格の下落に歯止めはかかりません。世界が今までの歴史にないほど供給

過剰になったという構造変化を認識する必要があります。デフレ克服には大規模な減税対策とともに付加価値の高い製品・サービスの創出など、内需を創出する企業の努力が重要であると思います。これからの経営者は値下げしてでも売上確保を目指す経営から、いかに利益率を高めるかを第一とする経営戦略を徹底して実践することが求められます。

平成15年を先行き不安で暗い年にするのも、

先の展望を開く明るい年にするのも経営者次第です。師走の京都・清水寺で発表される毎年恒例の昨年の漢字は「帰」でした。今年は明るい希望に満ちた漢字になることを期待したいものです。

最後に、皆様のご健勝とますますのご発展を祈念いたします。

## 事務局だより

# INFORMATION

12月

●4日 理事会

1. 総務委員会より
  - (1) 石織株本社部分跡地を組合が落札
  - (2) 新年互礼会の件
  - (3) 集団健康診断予定について
2. 厚生委員会より
  - (1) 労働事情実態調査、幹部社員研修会、スキーツアーについて

1月

●6日 新年互礼会



### 編集後記

2003年初めての広報誌です。今年は昨年同様大変厳しい年になると思われます。ここ数年のような大転換期には「生き残るためには変革が必要である」とドラッカー教授は言われています。また、慶応大学のある教授は「現在は第3期変革時代（明治維新・第二次大戦後とあわせて）」とも話されています。この厳しい年、我々はいかに自分を、企業を、社会を今までは違う方法で現状打破する事ができるのか？ 試練の年でもあり、何とか乗り切っていきたいものだと考えます。情報化のデータベース事業も完成してはいますが、まだまだ生きた運営がなされていません。今までは違ったやり方で、新たな発信を求め、今ある資産を有効に活用すべき年であると思います。一人の知恵では難しいなら皆で活用を考え、「キマッシ カナザワ」の素晴らしさを広く理解していただけるようにしたいと思っております。今年もよろしくお願いたします。(A)

## 2003年プレゼント付 今年を占うクイズ

今年、日本・世界はどのような年に？そして読者の皆様の予想は？

このページをコピーして、会社名、お名前をご記入の上、2月28日までに事務局FAX(237-5240)までご回答ください。優秀な成績の方には粗品を進呈いたします。なお、回答数と同じ場合には抽選とさせていただきます。

### 会社名

- ①2003年12月1日の日経平均株価の終値は、年初の8713円33銭よりも（高い 安い）
- ②2003年12月1日の円相場は、年初の119円よりも（円高 円安）
- ③2003年のプロ野球日本シリーズを制するのは（セ・リーグ バ・リーグ）
- ④2003年12月1日現在、内閣総理大臣は小泉純一郎氏で（ある ない）
- ⑤2003年度のがわ国の実質経済成長率(2003年12月政府発表の実績見込)は、1.6%を（超える 超えない）

### お名前

- ⑥第85回全国高校野球選手権大会(2003年夏)において石川県代表はベスト8に進出（する しない）
- ⑦今年も日本人がノーベル賞を受賞（する しない）
- ⑧松井秀喜選手はヤンキースでホームランを30本以上（打つ 打たない）
- ⑨2003年12月1日までに、金沢市は他の市町村と合併の合意が（できる できない）
- ⑩秋のプロ野球ドラフト会議で石川県出身選手（他府県出身者でも県内の高校、大学に在籍した場合は出身者とみなします）が指名（される されない）

未年男  
大いに語る

# KIMASSI

Vol.85  
February

# KANAZAWA

FEBRUARY 2003 KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS 金沢問屋センターニュース  
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

未年男、大いに語る。  
平成15年の経済見通し。



# 未成年男、大いに語る。



## 問屋業も次世代体制へ脱皮を

森佐株式会社 社長  
森 昭夫

新年あけましておめでとうございます。昭和30年生まれで、48歳となります。私達の年代は小学生時代に東京オリンピック、アポロ月面着陸、ベトナム戦争、中学生時代は大阪万国博覧会、高校時代は学生運動、フォークソング、大学ではオイルショック、ロッキード事件があったことが代表的な出来事だったように思います。経済的には高度経済

成長、政治的には55年体制の混乱と混沌の時代でした。そして戦後の体制のしんがりをつとめてきた年代に思います。

さて、現在を考えると、その高度経済成長の終焉、55年政治体制の崩壊が誰の目にもはっきりとしており、次のパラダイムを見出せないための構造不況も多々あると思えてなりません。近代化前の農業の時代、車が造られフォードなどが活躍した現代まで続いた工業時代、物の充足から心の充足のサービスの時代、それが高度成長時代と55年体制とともにそろそろ通用しなくなってきているように思います。大衆という言葉は死語となり、マスメディア、マスマーケティングのマスという概念もつい20年程前は花形でしたが今はなく、

今やマスメディアの代名詞テレビは誰に対して発信しているのか、三流文化の垂れ流しの状態にあります。マーケティングもワン・トゥ・ワン・マーケティングに取って代わられようとしています。昨年の紅白歌合戦も各家庭から投票が行われていました。

今、問屋業もマスマーケティング、マスマーチャンダイジング一辺倒から早く抜け出して、次世代のワン・トゥ・ワン・マーケティング体制へ早く脱皮したいと考えているのではないのでしょうか。でも私は、具体的に何をしたいのかわからないので、それは今年の課題です。ストレイシーブ、迷える子羊は今年はこのようにことで頭を悩ましています。



## 石川新県庁舎移転におもう

株式会社 タマイ 専務  
玉井 伸明

新年明けましておめでとうございます。石川新県庁舎19階の展望ロビーからの眺めは素晴らしい、一見の価値があると思います。昨年は、12月11日から26日まで駅西副都心の中核をなす石川新県庁舎の家具の納品が行われ、終日立会いの日が続きました。この新県庁舎の家具を受注するための営業活動は、5年前から他県庁舎の当社取り扱いメーカーの納入事例提出から始まり、3年前に初めて議会庁舎の家具のプレゼン作業を提出し、平成14年度予算要求のために、行政庁舎、議会庁舎、警察庁舎のプレゼンや各種参考資料を担当課に提出しました。そしていよいよ8月にWT O

の入札の公示が行われ、9月の入札で議会庁舎の議長応接室、特別・常任委員会室、議会図書館、大会議室、それに行政庁舎の食堂等を受注しました。主な納入メーカーは、将棋の駒で有名な山形県天童市の天童木工、大阪に本社を有する家具総合商社の内田洋行などです。

さて、家具の納入も各メーカーの納入日程を決めることから始まり大変でしたが、それ以上に旧庁舎から新庁舎への移転作業は質量ともかなり大変なものだったようです。引越しには延べ1100台のトラックが出勤し、8万個のダンボールの書類と3万個の備品の移動が主に12月27日から翌1月4日の間に行われたようです。引越し作業を請け負った日本通運ほかJVの担当者に聞いた話では、引越しのための養生にかかった日数や梱包材料等初めての経験だそうです。そして1月6日に新県庁が無事始動いたしました。県庁が移転することによって様々な動きや変化が見られました。まず電気店や家具店などの大型店舗が

進出し、50m道路や県庁周辺を中心にファーストフードや各種飲食店やコンビニ、それに生活用品店などが多数できており、以前のまちなみを知る人ならば誰しも驚くことでしょう。それに、約2700人の県庁職員が通勤することになり、新たに香林坊から新県庁舎へのバス路線「シティライナー」が新設され、さらに50m道路で公共車優先システムの稼働が始まりました。いよいよ駅西副都心の始まりです。今後さらなる発展を期待したいと思います。ところで私もショッピングには金沢の比較的中心地に住んでいながら、野々市や松任へ行くことの方が多いという有様です。これでいいのと思うことがよくあります。県庁移転に伴い金沢市街地の賑わいの低下に拍車がかからないよう、旧県庁舎の跡地利用も含めて、今後のまちなみの賑わい復活に期待していきたいと思っています。



## 私と健康

川崎株式会社  
川崎 謙介

新年、明けましておめでとうございます。皆様には、お元気に新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。この度、昭和42年未成年男という事で、「年男、大いに語る」の原稿を頼まれましたが、どうも私ごときでは適任ではないように思われますが、何卒悪しからずご了承ください。今年の春で36歳を迎えますが、4年程前に仕事の途中で激しい動悸とめまい、手足の震えを感じ救急車で運ばれ、病院の集中治療室で手当てを受けたのですが、脈が乱れ呼吸困難になり、医師の判断により電気ショックを行い正常な状態に戻ったという、死を意識す

るという恐ろしい経験をしました。過労、ストレスからくる発作性心臓細動という病名で、この発作を起こしてから精神的にひどく不安に襲われ、また不眠症と動悸で悩まされる毎日が続き、健康管理の重要性を痛感しました。今回はその経験を基に健康について語ろうと思いました。

まず第一にストレスを溜めないことです。私は年に数回ですが、趣味であるゴルフを楽しみます。スコアは気にせずパートナーと談笑しながらラウンドする事でリラックスしてストレスを解消するように心がけています。

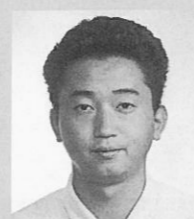
また「酒は百薬の長」ということわざがありますが、動脈硬化予防、心臓病に良いとされるポリフェノールを多く含む赤ワインを少量ですが飲むようにしています。事実、コレステロールが減少し、ビタミン、ミネラルが豊富なためか、免疫力が高まったようで風邪をひく回数が減少しました。医学ではガン予防の他、糖尿病の予防、痴呆症(ボケ)予防効果

まで示唆する報告がされています。

第二に睡眠をきちんと取ることです。私は仕事柄枕業界に勤務のため、快眠には深く興味を持ち、「時間」ではなく「質」を重視し、熟睡できるよう枕選びに気をつけています。今では自分に合う枕で寝ることにより不眠との戦いに終止符を打つことができました。

最後はなんと言っても食生活の改善です。入院生活の時、毎日魚や野菜を中心に栄養のバランスの取れた献立が配慮されていると感心いたしました。健康を維持するには何よりも楽しくゆっくりと食事をする。これが日常生活の中で一番重要だと再認識しました。以上三点を念頭に置いて生活するうちに、今では心身ともに健康になってきました。

今後は養生に努めますとともに皆様にご心配をかけないよう、今年1年、健康面に十分留意していくつもりです。今後ともご指導くださいますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



## 今こそ一人ひとりが変わらなければ

小倉株式会社 専務  
小倉 隆太郎

明けましておめでとうございます。3回目の年男を迎えますと、何かと世の中に多くの不満が生じてきます。その不満の中でいくつか語らせていただきたい。

初めに選挙制度に対する不満です。近年の選挙投票率の低さにはがっかりします。その低い投票率の中で当選して「万歳」している議員にも考えさせられます。なぜもっと投票率を上げてよりよい人材を選出し、私たちの生活に反映させないのだから。そこで私思うに「選挙権不履行罰金制」の導入、簡単に言いますと投票しない人からは罰金5000円徴収する。

但し白紙投票もOK! よく勇気ある棄権と口にする人がいるが単に選挙権を放棄して他人任せにしているに過ぎない。罰金に関しては国の財源としてプールし、有効に利用すればいい。例えば神戸の震災時に、「義援金お願いします」とお粗末なCMが流れてくるが、そういう時にこそ国がプールした金を利用すべきだ!

今の国には財源がなさ過ぎる。600兆円超えの借金を抱えて予算の補てんは国債では能くなさ過ぎる。日本国民の保有する資産1千? 百兆円を引き出す事に知恵を使えばどうだろう?

例えば「過疎化地へ国営カジノ建設」、過疎地の繁栄、それに伴う経済効果・カジノ収益。また、「国営パチンコ建設」! 競馬・競輪・競艇よりは地域密着型で収益は膨大。それに北朝鮮のミサイル削減にもつながる? 私思うにギャンブルの「勝金」は「悪銭身に付かず」できつとデフレ社会を潤すのではないのでしょうか?

最後にもう一つ不満を聞いていただきたい。それは公務員の給与です。国を会社に例えれば公務員は社員です。会社が赤字に転じたとき、最初に見直す所は経費(人件費)です。我々民間企業の誰も不満を抱いているのではないのでしょうか?

今、国内公務員四百数十万人の給与を10%削減したらどれだけの節減になるでしょう。残念ながら国会内ではこの提案はタブーなのです。どの政党もこの問題には触れたくない! なせなら四百万人以上の有権者を敵にまわしてしまうからです。大概の党は存続すら難しいでしょう。

最終的に、今の日本国民は我がまま! エゴのかたまりだ! (私を含む)。残念ながら誰が総理になるのが、議員になるのが大差はないだろう。今、国民一人ひとりが変わらなければ「歴史は繰り返す」ではないが、「リセット」つまり戦争に向かっているような気がします。

## 平成15年の経済見通し

# 経営者は利益率を高める経営戦略を徹底して実践を



金沢信用金庫 問屋町支店  
支店長 建部 吉徳

新年、明けましておめでとうございます。皆様には新春をさわやかに迎えることとお喜び申し上げます。

まず、平成14年の日本経済を振り返りますと、好調な輸出がエンジン役となり、5月に「底入れ」した日本の景気も夏以降に輸出が減速し、不透明感が強まりました。5%を超える失業率。バブル崩壊後の最安値を付けた株価。増え続ける不良債権。戦後2番目の企業倒産。個人の自己破産は史上最悪の20万件を突破する年末で、昨年失われた10年から続く長いトンネルを抜け出せませんでした。

それでは、平成15年はいかなる年回りになるのでしょうか。新年の干支は「癸未(みずのと・ひつじ)」です。十二支の「未」は動物で羊ですが、文字の意味は「木の枝葉が生い茂ってよく見えない」ということです。十干の「癸」は十干の一番あと、季節でいえば冬です。「万物が枯れ落ちて見渡す限りささぎるものがない。それまでは隠れていたものが見えなくなる年」といわれます。「癸未」と合わせますと、今年日本経済再生の道筋が明らかになってくる年であると期待できます。

さて、平成15年の経済情勢を展望しますと、あいかわらず景気の回復力は弱いと思われる。これまで日本の景気を支えてきた輸出は米景

気の回復ペース鈍化で伸び悩むものと思われる。また、内需も総じて低調に推移しているため、輸出の減速による景気へのマイナス影響は大きい。景気の先行き不安で投資マインドの回復は予想以上に遅れそうです。

需要項目別に見てみますと、

### 個人消費 前年比0.3%程度に減速

健康保険料の自己負担比率引き上げなどにより、社会保障の家計負担が1兆5千億円程増加する。完全失業率は前年の5.5%から5.9%程へと上昇が続くと思われ、地価・株価の資産デフレと相まって消費マインドは悪化すると思われる。

### 住宅投資 新設住宅着工戸数は115万戸程度

今年度も地価の下落が続くことで買い替え需要の回復は見込めない。しかし、所得・雇用環境は厳しいものの、12月までの減税期限を意識した持ち家建設が下支え要因になると思われる。

### 設備投資 前年比1.3%程度の小幅プラス

米景気の失速が回避できることを前提にすれば、下期には景気持ち直しの動きが出てくると見られ、企業の投資マインドは徐々に上

向くと思われる。企業収益はリストラ効果などから回復が続くとみられ、潜在的ニーズの大きいソフトウェア投資や老朽化した設備の更新投資などを中心にプラスに転じてくると思われる。

### 外需 横ばい基調

イラク情勢などの不安定な要因があるが、輸出は後半にかけて円安の影響から回復が見込まれる。アジア向け輸出は企業の海外生産シフトやハイテク設備の世代交代を背景に資本財を中心として堅調に推移の見込みである。アメリカ向け輸出は自動車など輸送機械は横ばいの見込み。一般機械・電気機器は弱含んでおり、全体として弱含んでいる。EU向け輸出はユーロ圏において景気が減速しつつあることから横ばいである。

### 公共投資 景気動向を配慮して小幅削減

補正予算において、構造改革推進型の公共投資に国費ベースで1.5兆円程度(事業規模で2.6兆円程度)が見込まれ、下支え効果はあるものの、政府は引き続き緊縮型の財政運営スタンスを維持すると思われる。また、地方単独事業についても昨年と同じく圧縮基調である。こうした状況を折り返し予測では、今年

〈2002年度・2003年度の日本経済の見通し(前年比)〉(単位:%)

	実質GDP	個人消費	住宅投資	設備投資	公共投資	外需	完全失業率
2002年度(予測)	0.8	1.4	▲1.1	▲4.6	▲6.8	7.6	5.5
2003年度(予測)	0.6	0.3	0.1	1.3	▲6.3	3.0	5.9

〔四半期別GDP速報〕より作成。予測は信金中央金庫総合研究所